

“9条守る”運動に確信

憲法会議全国総会 経験进行交流

憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）は22日、東京都内で第61回全国総会を開きました。高市早苗政権による改憲の危機だが、「憲法を守る」という新しい市民運動を確信に、大軍拡・戦争国家づくりを許さない取り組み、憲法学習運動、署名活動を強めようとの方針を採択しました。

開会あいさつで吉田健一代表幹事（自由法曹団元团长）は「平和を大事にした」と思う若い人を含む新し

い運動とともに、日米両政権の危険な動きを許さない国民的な運動をつくるため憲法会議も前進しよう」と述べました。

高橋信一事務局長は議案を提案。高市政権の改憲・軍拡との闘いを強め、憲法を守り、いかに、国民生活を守るため▽衆参憲法審査会の傍聴▽スパイ防止法「国旗損壊罪」阻止の取り組み▽憲法学習▽九条の会が準備している新しい憲法署名▽憲法を真ん中に据え

た市民と野党の共闘の再構築を呼びかけました。

討論で「先日の国会前の10日行動に参加した。心躍る光景だった」と語った埼玉憲法会議の渡辺政成事務局長は、埼玉でも若い女性や母親、自民党支持の男性らの署名やカンパ、宣伝飛び入り参加があったと報告。「スパイ防止法」反対の会の結成に向けた新しい共同について述べました。京都憲法会議の奥野恒久事務局長（龍谷大学教授）



各地の取り組みが報告された憲法会議の全国総会＝22日、東京都内

市民の力で改憲阻止

憲法会議が春の学習講座



憲法会議2026年春の憲法講座で講演する渡辺氏。22日、東京都内

に執念を燃やし、無法な戦争を繰り返すトランプ米政権追従の姿勢を示すもと、会場いっぱい140人、オンライン、集団視聴を含む300人が学び合い、草の根から改憲を阻止する決意をみなぎらせました。

渡辺治一橋大学名誉教授が「高市内閣の改憲・軍拡策動の狙い、どう立ち向かうか」と題して講演。高市自民党が総選挙で「大勝」

したのは、政権維持をかけた新自由主義の修正・延命路線に転換し、「暮らしをなんとかしてほしい」と切望する国民の支持を奪い取ったからで、国民は改憲・軍拡を白紙委任したわけではないと指摘しました。

ホルムズ海峡への艦船派遣について高市首相が「日本の法律の範囲内で、できることとできないことがある」と述べたことを挙げた渡辺氏は「改憲・軍拡を狙う高市政権に立ちはだかるのが、自衛隊の活動を制約させる憲法9条と市民の運動です」と強調。「戦争させないため今、私たちにできることは戦争反対、戦争に加担するな、戦争準備の憲法改悪を許すなどの声を上げ、市民の共同を広げることです」と述べました。

日本共産党の山添拓参院議員が国会報告しました。参加した埼玉県富士見市の石川尚さん（70）は「総選挙の結果にがっかりしましたが、国民は改憲を望んでいないと分かりました。戦争のない日本を続けた」と話しました。

渡辺氏が講演

憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）は22日、春の

憲法講座「憲法の危機、守り活かす大運動ではねかえそう！」を東京都内で開きました。高市早苗首相が改憲